

エコビレッジに、住もう。



ドイツ ダルムシュタットのエコ団地に建つ連棟型の集合住宅。
セダム草で緑化された屋根と木貼りの外壁はエコ住宅のシンボルだ。
団地の中央には大きな土の広場が配置されている。



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、
住宅の空間デザイナーとして活動。
自然素材にこだわった新築、
リフォームの設計、施工会社
「西條インテリアデザイン」代表取締役。
自然派生活提案「えこすた」店主。

1. 集まって暮らす

住人が参加する家づくりの手法である
コーポラティブ住宅とは、住居者自らが
集まって組合をつくり、事業計画を考え、
土地の所得・建物の設計・工事の発注など
の業務を行い、住宅を所得し維持管理し
てゆくことである。

もともとは首都圏を中心に、より良い環
境により安く集合住宅を建てて住むため
の手法として始まったものだ。

個々の好みや、ライフスタイルに合わせ
たデザインの部屋を手に入れられること、
無駄な経費や中間マージンを省けるため、
リーズナブルな価格になること、参加者
間での話し合いを通してコミュニケーション

ンが図れるなどメリットも多い。その一方
で、意思統一を図りながら計画を進めるた
め、個人住宅に比べ打ち合わせ回数や拘
束される時間が多くなり、完成までの時
間がかかるなどのデメリットもある。完
成までの時間は、標準的に2年が目安と
なるらしい。

僕たちが期待したいのは、健康的で環境
のことも考えた暮らしを実現する住まい
と周辺環境、さらに、同じ価値観をもった
住人が集うコミュニティを手に入れられ
ること。個人住宅では実現できないこと
が、コーポラティブ住宅とエコ住宅を組み
合わせることで、夢が現実になるのだ。



1 南側には、広い庭園空間が確保されている。
2 住宅内の通路は車の乗入れを禁止している。
3 雨樋で集めた雨水は庭の散水に利用されている。





上・ビオトープの浄化池がある。下・菜園に囲まれる住宅棟。

3.伊達エコビレッジの場合
土地代が高い首都圏では、住民同士の協力で成立するコーポラティブ方式も、北海道ではなかなかに厳しい。特にローカル都市においては、集合住宅であることのメリットがほとんど感じられないのかもしれない。僕たちが進めている北海道初のエコビレッジ計画「北の湘南 伊達エコビレッジ」でも、そのことを痛感させられる。4〜6世帯が住む連棟型の低層集合住宅をイメージしていたが、戸建を集めた下町長屋のようなスタイルのほうが、受け入れられやすいのかもしれない。

ローカル都市におけるエコビレッジのスタイルは、どこか懐かしい田園風景の中に民家が集まる農村集落ではないだろうか。伝統的な木造建築を取り入れて、古民家チックな建物で構成する小さなエコビレッジに思いをはせている。住まいの周りに菜園空間をデザインして、農的暮らしを楽しむためには屋上庭園だけでは満足できないし、できることならば鶏や蜜蜂も飼ってみたい。一人ではできないし、旅行にも行きたいな—と思うていたことが、エコビレッジならば喜んで助けあえる仲間がいるのだ。自然菜園はコミュニケーションを深める格好の場となるに違いない。どうです、エコビレッジに住んでみたくなりませんか？

※伊達エコビレッジ計画の詳細、説明会のご案内はP187をご覧ください。

伊達エコビレッジのモデル 北ドイツキールのエコビレッジ。



- 1 きのかの家はRC打ちっ放しと焼杉板の外観。
- 2 菜園横のソーラー温水装置。
- 3 屋上に広がる菜園スペース。
- 4 集会室前の中庭にある雨水タンク。



2.東京エコビレッジ
昨年末、東京都町田市に完成した鶴川エコビレッジ「きのかの家」は、30戸29世帯が暮らす、コーポラティブ方式で建てられたマンションスタイルの集合住宅だ。高耐久鉄筋コンクリート外断熱構造の建物は、傾斜地に立つため地上3階、地下3階の6層構造。集会室、地上と屋上の菜園スペース、中庭や屋上広場、裏山の離れスペースなどのCOMMONスペースを共有している。エコ設備として、雨水をためて利用したり、オフションとしてソーラー温水装置やコンポスト型トイレなどを取り入れる家庭もある。化学物質や電磁波を極力排除した計画と素材選びは、化学物質に過敏な家族も入居できるほど、健康へのリスクを軽減している。夏の花火やバーベキューの煙を制約したり、敷地内を禁煙にすることなどが規約で決められている。何よりも入居者が皆そのことを理解して、協力できる環境であることがすばらしい。また、全員が参加して杉板をバーナーで焼き磨いて作った焼杉を外壁に貼ったり、自分の部屋の塗り壁仕上げなどセルフビルドも取り入れている。
農薬を使わない有機菜園の学習をするため、周辺住民も巻き込んでパーマカルチャーの公開講座を定期的に開くなど、コミュニティの輪を広げながらの街づくりもなかなか良いと思った。

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



自然素材で新築・リフォーム
エ/コ/ロ/ジ/ー/建/築/エ/房
有限会社 西條インテリアデザイン
一級建築士事務所

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
ホームページ <http://www.saijo-d.com>